

【発行所】香川県東讃農業改良普及センター

〒769-2401 さぬき市津田町津田930-2(大川合同庁舎内) TEL:0879-42-0190 FAX:0879-42-0196

E-mail: tosannokai@pref.kagawa.lg.jp

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/tosannokai/>

●表紙…担い手農業者の紹介 ●2-3p…スマート農業の取得紹介 ●4p…受賞者紹介、研修会や普及活動取組報告

ニーズに応じた新たな品目の導入で さらなる経営発展を目指して



高松市岡本町の小泉孝裕氏(彩花園芸)は、現在ご家族4人で鉢花、切花の栽培に取り組まれています。就農して12年目を迎える小泉氏は、これまで鉢花農家として、ポットカーネーションやガーデンマム、カラー、ビオラ、パンジーなどを栽培してこられました。しかし、鉢花生産のみでは出荷が冬～春に集中することから、作業分散のために夏場の新たな品目として、2年前から切り花のヒマワリを導入しました。また、その後作としての切り花のランタンキュラスを導入し、現在は、既存の鉢花に加えてこれら2品目を経営の大きな柱として栽培されています。



切花栽培にあたっては、これまでの鉢物栽培で培ってきたノウハウや技術を活用し、コンテナやポットを使った栽培を試みています。また、液肥やタイマー付きのドリップ灌水を活用し、省力化にも取り組んでいます。引き続き、市場・消費者からのニーズに応じて新たな品目の探索を続け、経営の安定化を図っていきたいと、思いを語ってくれました。

今後のご活躍を期待しています。

ポットを使用した切り花栽培(左:ヒマワリ、右:ランタンキュラス)

スマート農業導入に 向けた取組み

生産現場では担い手の確保や高齢化など労働力不足が深刻化する中、ロボット技術やICT等を活用したスマート農業への期待が高まっています。管内における実践事例を紹介します！

スマート農業についてのお問い合わせは、
普及センターまで

露地野菜

直進アシスト機能付きトラクター等の導入による省力化と作業精度の向上



直進アシスト機能付きトラクターによる同時施肥、耕起、畝立て成型、マルチングの様子



GNSS自動操舵乗用型防除機での防除の様子

導入技術

- ・直進アシスト機能付きトラクター
- ・GNSS 自動操舵乗用型防除機

導入経緯

- ・作業効率の悪い狭小な水田におけるほ場準備や防除作業の省力化を図るため導入。

取組の特徴・効果

- ・作業時間の短縮・防除の適正化・オペレーターの負担軽減が確保できる。
- ・未熟練者による作業が可能となり、労働力不足の解消につながる。
- ・農業大学の学生等に、スマート農業技術の基本的知識を習得できる実習の機会を提供している。

活用事業：

労働力不足の解消に向けたスマート農業実証※

※「さぬきベジファームスマート農業実証コンソーシアム」の構成メンバー：香川県（代表機関）、(株)中四国クボタ、JA香川県大川地区営農センター、(株)さぬきベジファーム（実証生産者）

施設野菜

環境モニタリングシステムの導入による高品質生産



新型らくちんコントローラー



環境データをスマホで確認

導入技術

- ・環境モニタリングシステム（新型らくちんコントローラー※、みどりクラウド等）
- ※データ通信に対応したイチゴ栽培用環境制御装置。オプションの通信機材を取り付けることでデータの記録・モニタリングが可能（別途通信費等が必要）。

導入経緯

- ・イチゴやミニトマトの収量・品質は、温度などの環境条件や栽培管理作業が影響するため、これらデータを把握・見える化し、収量・品質向上対策に役立てることを目的に導入。

取組の特徴・効果

- ・環境データ（温湿度、炭酸ガス濃度、日射量等）をリアルタイムでモニタリングし、データをクラウド上に蓄積して、ほ場から離れていてもスマートフォンやパソコン等からハウス内の環境を確認できる。
- ・データの活用により、ハウス内環境を最適に保ち、高品質化や収量の増加・安定化につなげる。
- ・匠の技を見える化し、産地の高位平準化を図るとともに、誰もが取り組みやすい栽培につなげる。

活用事業：

情報活用農業推進事業（イチゴ）
かがわデータ駆動型農業の実践体制づくり支援事業（ミニトマト）

米 麦

ドローン散布機の導入による稲・麦防除作業の省力化



麦の赤かび病防除の様子

導入技術

- ・農薬散布用ドローン

導入経緯

- ・栽培面積の拡大や高齢化により、防除作業が負担となっていたため、効率的な防除作業と労働負担の軽減を目指して導入。

取組の特徴・効果

- ・ドローン散布機を活用して防除することで効率的な防除が可能となり1日当たりの防除面積が増加する。
- ・防除作業負担が大きく減少する。
- ・防除作業時間の短縮、コスト削減が可能となる。

畜産

発情発見システムの導入による効率的な飼養管理



受信盤操作する様子

導入技術

- ・発情発見装置「牛歩^{ぎゅうほ}10」

導入経緯

- ・黙視では牛の発情発見が遅れることがあるため、発情の早期発見による繁殖成績の向上と労働力の軽減を目指してシステム機器を導入。

取組の特徴・効果

- ・個体毎の活動量（歩数、採食時間）をリアルタイムに数値で把握することができ、発情や疾病の早期発見、飼育管理の効率化や繁殖成績の改善につながる。

活用事業：

中小規模畜産経営ICT化支援事業



受賞

おめでとうございます!!

2020年秋の叙勲
【旭日小綬章】



木村 薫様
(東かがわ市)

半世紀以上にわたり、農業や林業の第一線で活躍を続けてこられました。また、東かがわ市五名地区の活性化にも尽力されました。県森林組合連合会の代表理事会長を務め、林業の発展に貢献されました。

令和2年秋の褒章
【黄綬褒章(農業)】



原田 和幸様
(高松市)

カンキツの優良品種への更新など収益性の高い果樹経営を実現し、本県の果樹産地の発展に貢献されました。県果樹研究同志会会長や県果樹農業振興協議会副会長などを歴任し、担い手の育成や地域の活性化に取り組まれました。

(社)大日本農会令和2年度農事功績
【緑白綬有功章】



六車 孝雄様
(さぬき市)

新たな品種や先進的な栽培技術の導入により効率的な米麦経営と、直接販売や飼料用米栽培など経営の多角化を実現されました。地域や県内農業の発展に幅広く寄与し、新たな米生産・販売一貫体系へ尽力されました。

農業士が新規就農者へのサポート活動を実施しています。

東讃管内では、大川農業士会(さぬき市、東かがわ市)及び高松地区農業士会(高松市、三木町)に所属している50名の農業士と青年農業士が担い手の育成や地域活性化に向けた活動に取り組んでいます。

大川農業士会

10月から11月に農業士12名が5回に分けてさぬき市と東かがわ市の新規就農者20名を訪問しました。新規就農者の農業経営に対する思いを聞くとともに、圃場の様子を確認しながら課題や悩みを把握し、アドバイスをを行いました。お互いを知ることができ、充実したサポート活動の第一歩に繋がりました。



圃場で適切なアドバイスを行う農業士

高松地区農業士会

11月17日(対象:高松市東部・南部、三木町)及び11月24日(対象:高松市中央・西部)の2日に分け、両日で農業士13名と新規就農者14名が参加のもと情報交換会を開催しました。

交換会では、農業士が、規模拡大や農地の借り受け、経営作目の選定や所得向上に向けたコスト計算の重要性などを新規就農者にアドバイスし、相互に意見を交わす良い機会となりました。



高松地区農業士と新規就農者等との情報交換会

また普及センターでは東讃地域新規就農者ステップアップセミナーを開催し、新規就農者の育成に取り組んでおり、今年度は、各農業士会の協力を得て、新規就農者が先輩農業者の経営を視察しています。

東讃農業改良普及センターは、LINE公式アカウント始めました!

友だち追加

東讃地域の農業者の皆さんに役立つ情報をいち早くお届けします!



- ◆定期配信 毎月2回程度
- ◆国、県の支援・施策情報
- ◆講座・研修会等の案内
- ◆病害虫発生予察情報

三木町の多田孝夫氏が新嘗祭に県産米を献納されました

三木町田中の多田孝夫さんは、県を代表して令和2年度新嘗祭に献納する米の生産を担いました。今年は、長梅雨や猛暑の影響により、収量や品質確保が心配されましたが、本人をはじめ、ご家族や関係機関の協力のもと良質の「あきさかり」が出来上がりました。

例年10月末皇居で行われる献納式は、コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、米は無事献納され、大役を果たすことができました。



抜穂式において